

平成21年度秋期 災害対策専門研修
マネジメントコース:エキスパートA

主担当: 研究員 石川 永子

		10月19日(月)	10月20日(火)	10月21日(水)	10月22日(木)
09時30分～10時45分	1限		災害対応概論(応急期) 越山 健治 研究主幹 ・応急対応期の対応と課題について理解を深める	国の災害対応 中川 和之 時事通信防災リスクマネジメントWeb編集長 ・我が国の防災体制、厚生労働省の役割等の理解を深める	防災計画・マニュアルの考え方 目黒 公郎 上級研究員 ・災害対応に活かすことができるマニュアルの考え方について学ぶ
11時00分～12時15分	2限	11:00～11:30 開講式 11:30～12:15 オリエンテーション 石川 永子 研究員	危機対応時の組織論(情報提供・報道機関対応) 読売新聞大阪本社 安富 信 編集委員 川西 勝 科学部次長 ・災害時の情報提供方法、報道機関対応の課題を学ぶ	危機対応時の組織論(情報システム) 浦川 豪 京大大学生存基盤科学研究ユニット助教 ・災害発生直後の被害予測技術、システム設計における業務分析の考え方を学ぶ	国の災害対応 森 毅彦 内閣府政策統括官(防災担当)付企画官(災害応急対策担当) ・我が国の防災体制、内閣府の役割、災害救助法等の理解を深める
13時30分～14時45分	3限	災害対応演習 奥村 与志弘 主任研究員 ・危機発生時の具体的な課題をもとに、災害対応の考え方について学ぶ	災害対応概論(復旧・復興期) 中林 一樹 上級研究員 ・復旧・復興期の対応と課題について学ぶ	危機対応時の組織論(組織・ロジスティックス) 清瀬 羊司 陸上自衛隊中部方面總監部 地域連絡調整課長 ・ロジスティックスの役割とその重要性、後方支援・業務交代などの必要性について学ぶ	危機対応時の組織論(トップの対応) 遠藤 勝裕 日本証券代行株式会社取締役相談役 ・阪神・淡路大震災でのトップの災害対応、危機管理に対する心得を学ぶ
15時00分～16時15分	4限	災害対応概論(初動期) 紅谷 昇平 主任研究員 ・初動対応時の対応と課題について理解を深める	市民社会ワークショップ 立木 茂雄 上級研究員 山本 康史 ハローボランティア・ネットワークみえ代表 ・災害時の被災社会の対応において、市民の力の特徴や行政との関係のあり方について理解を深める	全体討論会 石川 永子 研究員 ・阪神・淡路大震災を事例にワークショップを行い、災害対応の考え方の理解を深める	災害対応各論(医療活動) 鵜飼 卓 兵庫県災害医療センター 顧問 ・災害現場の医療活動体制について理解を深める
16時30分～17時45分	5限	※展示施設見学			16:15～17:00 レポートタイム 17:00～17:15 閉講式
17時45分～18時00分	—	レポートタイム	レポートタイム	レポートタイム	

平成21年度秋期 災害対策専門研修
マネジメントコース:エキスパートB

主担当:主任研究員 照本 清峰

		10月13日(火)	10月14日(水)	10月15日(木)	10月16日(金)
09時30分～10時45分	1限		災害対応従事者の業務管理論 岩井圭司 兵庫教育大学大学院学校教育研究科教授 ・災害対応業務を行う上でのマインドケアについて	ゲーミング手法を活用した防災・減災ワークショップ 吉川肇子 慶應義塾大学商学部 准教授	被害認定業務 田中 聡 富士常葉大学環境防災学部准教授 ・被害認定の種類、また被災者への支援にとって重要な罹災証明書発行業務の実務について
11時00分～12時15分	2限	10:50～11:15 開講式 11:15～12:30 オリエンテーション 照本 清峰 主任研究員	阪神・淡路大震災の復興まちづくりにおける法制度上の課題 西野 百合子 弁護士 安崎 義清 司法書士 古殿 宣敬 弁護士 阪神・淡路まちづくり支援機構 ・阪神・淡路大震災における法制度適用の実態とその問題、課題について	・災害対応時における優先順位付け、阪神・淡路大震災の事例を通して災害対応業務として構築する方法について	非公共機関の災害対応 水島重光 日本生活協同組合連合会 震災担当世話人 ・災害時における公共機関以外の組織との連携について
13時30分～14時45分	3限	都市巨大災害論 河田 恵昭 人と防災未来センター長 ・事例を通じて災害による被害過程の全体像について理解する	※展示施設見学	業務継続計画論 丸谷浩明 (財)建設経済研究所 研究理事 ・災害時において対応することになる各公共機関の主な役割と概要、BCMの考え方について	災害の対応事例と教訓 高橋 静 新潟県防災局危機対策課参事 赤川 孝昭 長岡市危機管理防災本部総括副主幹
15時00分～16時15分	4限	リスクマネジメント概論 小林潔司 上級研究員 ・行政評価の手法と考え方、防災計画等に基づく事業の評価手法について	被害想定概論 照本清峰 主任研究員 ・被害予測技術の基礎的な考え方と災害発生後に生じる被害程度を想定する考え方の理解を深める	災害対策本部の空間構成設計演習 牧 紀男 京都大学防災研究所准教授 元谷 豊 特定非営利活動法人環境・災害対策研究所主任研究員	・災害事例をもとに、災害対応の課題と対応方法の考え方について理解を深める ・事例をもとに意見交換を行い、災害対応のあり方について理解を深める
16時30分～17時45分	5限	標準的な災害対応システム論 林 春男 上級研究員 ・災害対応における標準的業務手順や対応手法について	災害情報共有手法 宇田川 真之 主任研究員 ・情報共有の具体的方法について	・災害対策本部のレイアウト方法について学習し、実際にレイアウトを作成する	16:15～17:00 レポートタイム 17:00～17:15 閉講式
17時45分～18時00分	—	レポートタイム	レポートタイム	レポートタイム	

平成21年度秋期 災害対策専門研修
アドバンスト／防災監・危機管理監

主担当:主任研究員 照本 清峰

10月26日(月)	10月27日(火)
	<p>(9:50～12:20) 「災害対応特論」 室崎 益輝 上級研究員</p>
<p>(11:00～11:30) 開講式 (11:30～12:00) オリエンテーション 照本 清峰 主任研究員</p>	<p>災害の状況に応じて既存法制度の限界部分、対応策についての指示、判断ができるようになるための考えを深める。講義は討論形式で行う。</p>
<p>(13:00～14:00) 「危機対応組織論」 河田 恵昭 センター長 危機対応をする上で首長を補佐する人間が必要とする能力について理解する。</p>	<p>(13:20～16:30) 「災害対応検討ワークショップ」 照本 清峰 主任研究員</p>
<p>(14:15～15:15) 「目標管理型災害対応論」 越山 健治 研究主幹 目標管理型災害対応の考え方やその具体的内容について、過去の災害事例を踏まえ理解する。</p>	<p>災害発生後の限られた情報の中で状況を推測し、対応方針、施策を検討する考え方を演習を通じて深める。 (途中休憩あり)</p>
<p>(15:30～17:45) 講義「行政対応特論」 東田 雅俊 日本赤十字社兵庫県支部事務局長(元 兵庫県防災監) 丸一 功光 神戸市東灘区副区長(元 神戸市広報課主査) 大規模災害時の対応事例を知り、災害発生後の対応課題と首長に助言すべき内容を学ぶ。講義は討論形式で行う。 (途中休憩あり)</p>	<p>16:30～17:00 レポートタイム 17:00～17:15 閉講式</p>
<p>(17:45～18:00) レポートタイム</p>	